



平和の大切さについて

南小学校 六年 堀 有那

私は毎年、平和の大切さについて考えます。

七十五年前、広島、長崎に原爆が落とされ、広島では十六万六千人、長崎では七万四千人の人が亡くなりました。生き残れたとしても、家族がいなかったり、一人ぼっちになったりして悲しむ人がたくさんいました。

若者や子どもたちに平和への思いを伝えてきた近藤紘子さんによると、目や口の周りの皮がめくれ、閉じられない人がたくさんいたそうです。私もし戦争時代にいたら、こわい思いや悲しい思いをたくさんしたと思います。私は毎年、戦争は人の人生を変えてしまうものだと感じています。

そして私は、平和の大切さを考える中で人権についても考えました。なぜなら戦争は最大の人権侵害だからです。その戦争と同じようにいじめや差別は絶対にしてはいけないと思います。いじめは、苦しいし悲しいし、された人は毎日不安な気持ちで暮らさなければ

いけません。また、差別もいじめと同じです。差別をされると、人を信じられない日々を過ごすことになりません。苦しい思いをだれにも相談できず、思いをためてしまふと生きていられなくなると思います。いじめや差別は戦争のように、人の命をうばってしまいます。

だから私は、人種や男女関係なく平等に接することが一番大切だと考えます。苦手な人だから話さないとか、無視するというのは平等ではないと思います。相手が嫌がることをしたら、それはもういじめであり差別になるのです。国と国とのことも同じです。日常生活でとなりの席の人を大事にする心や男女仲良く差別せず平等に接する心は、世界のとなりの国の人々を大切にすることを同じ

だから私はこれからも、身近な人を大切にし、平等に接していく心を大切にしていこうと思います。そして、いつまでも平和で平等な世界であってほしいと思います。

【先生のコメント】

堀有那さんは、普段から男女や学年など関係なく誰にでも優しく接している、とても思いやりのある児童です。今回は、毎年行われている平和学習と人権問題とを関連づけて考えを深めています。「戦争が最大の人権侵害である」という大きなテーマから、自分の普段の生活レベルに視点を落とし、いじめや差別について考えることができたようです。

これからも身近な人、そして自分を大切にしながら、歩んでいってほしいと思います。

必要です。また、お客様を第一に考えるように心がけています。ディーラー時代の経験が活かしていると思います」

接客の際は、お客様の話をよく聞き、希望に合ったサービスを提供する。「在庫がない車の注文を受けたときは、業者専用のオークション会場から仕入れられます。車が見つかるまで時間がかる場合もありますが、販売から整備まで、お客さまと長くお付き合いができる実感できたときがうれしいです」

今後の目標は、お客様に車の魅力をより伝える営業をしていくこと。特に若い人たちに興味を持ってほしいと語る。「お客様のニーズに合う車、そして車を活かした趣味などライフスタイルの提案を通して、興味を持ってもらいたいです。車のことについてよくわからない人も、気軽に相談いただければと思います」

『猪口自動車』の強みは、車の販売からサポートまで、トータルで対応できることと話す猪口さん。会社のスタッフとのチームワークを強化し、より満足度の高いカーライフサポートに取り組んでいく。

いのごち しんじ
商工会青年部、消防団に所属。2児の父で子育ても奮闘中。瀬高町文庫。

【みやまにひとこと】
人情味がある町で、子育てするのに良い環境だと思います。
【好きな言葉】
百聞は一見に如かず



いのごち しんじ
商工会青年部、消防団に所属。2児の父で子育ても奮闘中。瀬高町文庫。

令和2年度 みやま市男女共同参画推進キャッチフレーズ表彰式

9月3日、みやま市男女共同参画推進キャッチフレーズの表彰式が行われました。入賞作品および入賞者は次の通りです。

▽最優秀賞
たちあがれ男女参画 未来へと 西尾恵美

▽優秀賞
家事介護、子育て家族でワンチーム 野口千賀子
手を取り合いみんなでつなごう 西尾恵美
参画社会 西尾恵美

▽入選
コロナのためパパの料理レベルアップ ボクも手強いハッピーファミリー 藤吉豊子
母介護、夫と二人で協力分担 野口千賀子
お父さん料理にチャレンジ作る度においしさ増して家族の笑顔共同参画 廣田ノリ子
言葉に終わらぬ共同参画、自分でやろうみやまの生活 紙田和保
共同参画寄り添い合う家族から始めよう 大橋渡

◎みんなで智恵をしばり◎る気でやれば
◎まるく治まる共同参画 大橋渡

4人権・同和対策室 (Tel.64-1544)

受賞者の皆さん

みやま文芸

青門瀬高俳句会
巻き戻しきかぬ現し世つづれさせ
偲ぶことはすまじ机上の秋扇
銀漢のいよいよ遠し人もまた
教室で明かす一夜や台風裡
暗闇に季の動きおり虫の声
大空を転がしている芋の露
とんぼうの姿勢しく止まりけり
誕生日は秋の信州蝶ヶ岳
みやま短歌会
春立ちてコロナショックに沈みおり
進学決まるも入学式はなく
二メートル毎の足の型の上において
妻と離れて買物待つ
こもり居て昭和の頃に思い馳せ
ミシンを踏めば過ぐるは早し
昼ま見し歩道の羽は山鳩と
ねぐら思ひぬ寝入る時のま
幼な言う「おばあちゃんすごいよ」
解っているやらわが入選歌

吉岡 木骨
高橋 花杖
池田 芳水
高巢 幸子
阿部 和子
戸塚貴美代
橋本美恵子
河野 辰男
宮本 明生
松尾 逸央
中村 智美
西村 嘉彦
三栗野ミユキ

自動車サービス業 猪口 真治さん (38歳)

新車・中古車販売や自動車整備、ロードサービスなど幅広いサービスを提供している『猪口自動車』。以前はディーラー社員として新車販売の営業のみをしていた猪口真治さん。販売するだけでなく、さまざまなサービスを提供したいという思いから、実家である自動車会社で営業に励んでいる。

お客様の心に寄り添う

「お客様によって求められるものは異なってくるので、柔軟な対応と知識が

